

## 美浜町運動公園整備事業に関する住民説明会記録

日 時	令和2年1月17日（金）19：00～20：50
場 所	美浜緑苑集会所（美浜緑苑）
出席者	説明者 齋藤町長、永田副町長、山本教育長、杉本総務部長、石川産業建設部長、八谷厚生部長、天木教育部長 夏目総務課長、宮原都市整備課長 参加者：約72名
内 容	

**事業の経緯・概要説明** 都市整備課長 15分間 資料による

### 町長の経過説明 町長30分間

運動公園ストップを公約としたが、止められなかったことをお詫びする。

「美浜町民の幸せと将来を考える会」の考えをH31.1からチラシでお知らせした。

住民投票に代わる選挙でこの役目を負い9か月過ぎた。これまでの経過や資料を確認した。また、県・国へ職員から町民の意向を報告に行かせた。そして内部で検討した。

公約は運動公園を中止して区画整理だった。奥田駅前が大学が来ても水田で、H5から奥田城を含む40haで区画整理の計画があったが地主がまとまらずできなかった経過がある。

H27神谷町長になって再検討したのは良かったが、陸上競技場になった。大学がやることとと思っていたが町がやることをH29.3に知った。神谷町長に町が競技場を運営できるのか、大学に維持管理費を持ってもらえるように話をした。

その後H29土地買収、H30.11説明会と進められ、町民の考えや問題点が分かってきた。川があって地盤が悪いこと。都市計画税を使うこと。都計税は市街化区域からいただいている。これを財源とすれば一般財源に影響せず事業ができる。ただし神谷町長は都計税を1/2にする公約だった。南知多は取っていない。本町はこれまで区画整理に使ってきた。区画整理の街はこの財源で造られてきた。最後の柿谷地区は地価が下がり苦労した。

今回は土地を町が買収してしまったからやりやすいと思ったが、町営ではやれないことを初めて知った。勉強不足だった。

その後、町営ではできないが、民間ならできることが分かった。

公園事業の国の補助金、借入金6億円の返還が中止により生じることも分かった。

知り合いの大手メーカーから8億円で買って開発する提案があった。しかし公園から開発に事業を転換するのに6年かかるため土地の売却ができない。議会の議決も必要で今の議会は推進派が9名で通らない。

議会で住民投票条例ができた段階で3つの方法を考えていた。

事業を止める、現状の計画通り公園を造る、規模を下げた造る。3つの方法を議会にも提案していた。

しかし止めることはできないから審判の余地はない。そのため住民投票は必要がなくなった。

進めるにあたってお互いにコストを下げた検討してこうと議会で決めた。

その前から一番大事なのは日福大の協力とと思っていた。大学と検討をした。進める以上は大学の協力なくてはできない。できる協力はすると言ってくれた。

維持費と運営費が大変だ。維持費は2,000万円だが、5年に一度たくさんかかる。これが美浜町で持てるか疑問。

中止の場合、6億円が返還できるか、返還すると予算編成ができない。だから進めるしかない。これがこれまでの経過。

やる以上は、大学が望むように、執行部が考えているように活性化しなければならない。多くの人に利用してもらわなければならない。それならばいいものを造らないといけない。ただグラウンドを造っただけでは利用してもらえない。これまでの計画のように少なくとも3種をやるべきだ。これから議会とも協議しながら進めて行かざるを得ない。それを理解いただくために説明会をしている。

これからどうするか。本町は陸上競技場だけの問題ではない。

産業の活性化が必要。空港ができた。いい自然がたくさん残っている。何とか活性化することが一番大事。

もう一つは教育。子供数が減少していること。8校を一つにしていい学校にする。これしかない。教育委員会とも相談しR7までにやることを目標とし努力している。

場所は町の中心地総合公園の近くがいい。図書館、体育館、グラウンドがある。第2グラウンド代替地で総合公園も拡張する。更に用地を増やして学校を造る。

美浜の教育がいいと美浜に来てくれたら大きな力となる。

美浜町を良くするプランを進めることも大切な仕事と思い検討している。

町と議会の協力が必要、町民の全町あげての支援を得ながらやりたい。

外部の人も期待している。

(補足 総務部長)

運動公園整備事業は目的税の都市計画税を財源としている。それ以外の税収は一般財源で民生費、教育費等に使う。税収は都計税を含んで30億円で推移している。財政計画上は扶助費が増加していくが行財政改革で対応していく。

運動公園事業を中止した場合には、国からの交付金及び借入金約6億円を返還する必要がある。返還には町の財政調整基金を充てることとなるが、現時点での残額は5億円で返還額に満たない。町長が政策転換し運動公園継続となったため返還が不要となり行政運営は従来の財政計画に基づき安定して遂行できる。

### 質疑応答（・質問 ⇒町回答）

男性1

・今回の説明会はいいことだが、事業の前に各区でやっておけば揉めることはなかったはず。

事業の中止を主要な政策として町長となったが、勉強不足で撤回したら有権者はたまったものではない。中止に多くの町民が期待した。辞任すべきだ。

町の総合計画になかったことで、神谷町長が急に持ち出した。何かあったのか。なぜ駅前開発でなく運動公園なのか。必要かと住民は疑念を持った。

一番悪いのは神谷町長と神谷町長を支えた議員で、選挙公報で触れていない。辞職勧告や住民投票というのが同罪だ。

今、継続するかどうかを住民投票をすべきだ。住民の意思を確認すべきだ。

町のやり方と町長の変身ぶりに憤りを持っている。

⇒反論できない。公約のとおり止められなかった。反省したが進めないと財政が持たない。

・そんな勝手な言い分はない。

⇒ご意見としてわかっている。責任としてどうしていい町にしていくか。議会も職員もしっかりと反省していい町にするしかない。

これからそうならない町にしていきたい。

男性2

・私たちの関心事は地域の活性化であり、運動公園が地域の活性化に繋がるのか疑

念があったからあのような選挙の結果になった。事業の継続については、お金を使ってしまったから何とかしたいとしか思えない。何という体たらくか。

運動公園を進めながら産業の活性化の案はあるのか、そちらを期待している。

運動公園を進めた町の責任は大きい。こんなことで町を分断して新聞沙汰にもなった。風力の時も住民の声を聴こうとしなかった。

⇒産業の活性化が必要。農業は後継者がいない。基盤整備と規模拡大が必要で奥田平井の30haを農水省予算100%で土地の貸し借りのシステムを即やる様指示している。美浜の里構想は神谷町政4年間で実にならなかった。私はそれを即やるように進めている。鶴の池周辺で農福連携になる。

漁業の活性化の方法も漁業組合長と話し合いながら進めている。

デザートゴルフ大会は最高の人出だった。知多牛を商品として出して話題となった。いいものを発信していきたい。

商業は、かんぼの宿や少年自然の家やいい旅館がある。観光客に来てもらう、運動公園で合宿に来てもらうという形になれば皆でおもてなしをする。これからの夢です。

(教育長から教育について説明)

少子化が大変な勢いで進んでいる。河南小では限界を超えているため河和小に合併する。上野間小も減少しており野間中が10年後に1クラスになる。町の中央部に小中一貫校のプランを考えている。小学生はバス通学とし中学生は検討している。また、日福大には教育資源、人材資源として協力してもらっている。スポーツ科学部は部活指導もしている。他市町よりもいい教育をやりたい。R7は難しいがR10にはやりたい。

女性1

・運動公園は津波の心配はないか。

⇒津波の浸水想定区域は国道までとされている。

・北側の山は大雨等で崩れる区域になっていないか。

⇒急傾斜地には指定されていない。現町道を山側に付け替えるので山を削るが法面は崩落防止の措置を取るので大丈夫。

男性3

・コスト削減の検討はどの程度進んでいるのか。

⇒現時点では検討していない。陸上競技場は目的達成のために計画してきたのでスペックダウンは難しい。大学側の広場は下げられるものは下げる検討をする。

・陸上競技場のスペックダウンは考えないのですね。

⇒現時点では考えていない。

男性4

・先日、公園の水たまりが溜まりっぱなしになっていたが大丈夫か。

⇒造成工事の途中であり、これから4万立米の土を運んで盛土をする。完成すれば水は溜まらなくなる。

女性2

・コストダウンで陸上競技場は維持し、広場を検討するとのことだが、遊具広場や健康広場もコストダウンせず楽しい遊具設置等魅力のある自慢できる公園を造ってほしい。

⇒コストを下げることは、全体を通じて今後も取り組むべきこと。大学側の広場のコストカットについては遊具等を減らすのではなく、木の植樹を住民の参加や寄付の苗を使う等の工夫をしたい。また、直接使い勝手に影響のないもののグレードを下げることをしたい。公園の施設や器具は見栄えが良く価格が高いものが多いので精査して支障のないコストカットとしたい。

男性 5

・運営費が明確になっていない。赤字が出るばかりだと思う。町長が選挙前にチラシで競技場は上手くいっていないと書いてあったようになる。

止めると言っただけで当選した町長であるなら辞職すべき。既成事実を作った議員も辞職すべきだ。これは裏切り行為だ。運動公園は大反対だ。

⇒運営費について、公園の中止を検討し施設が決まらない状況で運営方法は決められなかった。儲けていくために皆さんで検討するもの。関係する観光業、商工業の意見も聴いて決めていくので、いい案があったら提案してほしい。

男性 3

・町長が辞めることと、事業をストップできないのは別問題だ。皆で考えて継続が決まった。使ったお金も戻らない。あれだけ反対した町長が止められないのだからやらざるを得ないと思う。

町長が辞めるかどうかは姿勢の問題だがどうなのか。

⇒約束したことはできなかったが投げ出す訳にはいかない。このまま放置して逃げ出す訳にはいかない。

やることを内部で検討させて進めて行く。皆さんに4年後評価してほしい。

16年間の人脈がある。何とか美浜を良くしたい。その思いだけです。反省しながら皆さんの期待に応えるのが自分の仕事。

男性 4

・19億円の交付金が増えることを聞いたが増える余地はあるのか。

⇒事業費のうち、用地費の1/3以内、工事費等の1/2以内が交付金の上限であり、これ以上増えることはない。

借入金の一部が地方交付税措置の対象となる制度はあるが資金計画には反映していない。

男性 6

・総合計画や都市計画マスタープランは飾り物なのか。それらの計画に書いてない大型公園をなぜやったのか。

町長はいい町にしたいと言っているが民意を大事にしない町政ではいい町にならない。

神谷町長は都市計画税半減を公約としていたが、運動公園を考えて矛盾している。執行部にも責任がある。弁明してほしい。

⇒総合計画、都市計画マスタープランでは、この地区をまちづくり、学園ゾーン、賑わいの拠点と位置づけしており、運動公園はまちづくりの一環として行うもの。

また、官学連携の公園づくりも学園ゾーンの充実として認めてもらっている。

都市計画決定の手続きの過程で県の同意もされている。

都市計画税半減については、地方創生事業の交流人口の増加を図る運動公園事業を決断し、かつて議会で人口減少への対応をするために先延ばしすると答弁した。

女性 2

・職員が一体となってやっている。いいものを造って美浜町を活性化して、若者が美浜に留まるようにしてほしい。また、大学生のバイト先がないため1,200人しか下宿していない。

皆さん一丸となって前向きにやってほしい。

男性 7

・やる以上は子供たちが誇りに思える、自慢できる施設、事業にしてほしい。美浜町ならではの公園を期待している。

⇒いい夢の町にできるように努力する。